

2017 年春の大セミナー C テーブル 総評

ジャッジ：立教4年 五十嵐

青学4年 前田

<テーブルメンバーと順位>

- 1位 内山（成蹊2）
- 2位 早野（明治3）
- 3位 玉槻（東北学院2）
- 4位 原田（東大2）
- 5位 村上（上智2）
- 6位 小野（高経2）
- 7位 岩田（青学2）

<議論の流れ>

◆ASQ

内山が臓器移植でOP。ASQは玉槻と原田を中心にQ責め。停滞はなく、30分強でASQは終了する。まずまずな立ち上がりである。

◆プラカ

原田による、common sense である give&take のセオリーに反するといった内容のアーギュメント。

- ・common sense をどう証明するのか
- ・セオリーに反することが、なぜプラカの否定に至るのか

が論点となった。

内山と玉槻が exception によって切ることを試みるが決定打とならず。三遊間抜けそうで抜けないショートゴロてくらい惜しい当たりであった。

結局内山が原田に give&take が common sense であることを証明できないのならば、possibility が否定できないため後で話そうというSが通り終息。

◆ワーカ

原田によるプラカの内容と繋がったアーギュメント。しかしゴールが add Mandate のためテーブルはSの内容の検証になった。

コンテンツに関するQの後、add Mandate のSが通る。

村上による、patient は臓器移植にネガティブになり、臓器移植をしたいと思わないため AD が取れないというアーギュメント。

早野の Q や C などにより patient は、臓器が欲しいという感情と脳死患者の両親が反対している中での移植をしたくないという感情の mind compari によって移植を選択しないことが引き出される。その後玉槻の、mind compari の結果はコンパリしないとわからないから後で話そうという S が通る。

◆DA

DA プレゼンター玉槻

TG:B/D/P who disagree o/t

Sit:have to give organ

Will:× want to give organ

◆コンパリ

AD>DA TG

内山の、ADTG は生きている時間が長いため、その分だけ日本国民に貢献できるから AD>DA というアイディアが音速で立論される。テーブルメンバーは、ホームランボールを見送る外野手のように、内山のプレゼンをただ眺めることしかできなかった。

DA>AD QL

玉槻が立論を試みるが、早野の指摘により omit。

早野が QL で DA>AD アイディアを提示。検証途中でゲームセット。

<順位と選定理由>

1 位 内山（成蹊2）

オピニオンプレゼンターとして議論の土台を作ったり、アーギュメントをトリートしたりと AD 立論に積極的な姿勢を見せ、このテーブルには欠かせない存在であった。またコンパリにおいてはしっかりと自分のアイディアを提示し、AD>DA を立論させたことも高く評価する。冷静にカンファメやトリートをする能力は他のテーブルでもきつと十分に推進力になりうると感じたので今後は 1st や 2nd のようなテーブルでも臆することなく発言して欲しい。アッセンや来年に期待！

2 位 早野（明治3）

必要な場面での C の質が高く、テーブルメンバーの理解につながったものが多かったこ

とを評価し2位とする。ただ発言一つ一つの質や貢献度は大変高かったものの、介入量が少なく、もったいなさを感じたのでよりコンスタントな介入を目指し、ぜひアッセンではリベンジを！

3位 玉槻（東北学院2）

主に Q でどの話に対しても積極的に介入し、DA プレゼンターとして DA 立論においてテーブルに貢献した。コンパリの経験が少なくてアイデアを omit したのはもったいなかったが、自分の課題を見つける良い機会になったのではないかと思う。遠方から来てくれてありがとう！

4位 原田（東大2）

Praca アーギュや worka における add M のアーギュなど自分のアイデアを提示した際には話の中心になっていた。しかし発言やプレゼンに丁寧さが欠けていたことが今回の欠点であったと思う。Common sense などの曖昧な言葉は必ず突かれるところだと思うので自分なりに説明の仕方を考えてみてほしい。伸びしろを感じた。

5位 村上（上智2）

随所で介入は見られ、QCS のどれにも挑戦していた姿から今後の成長が期待できると感じた。今回は一つ一つの介入の浸透率が低かったと思うので、先輩のやり方を研究してプレゼン方法なども見直してみると良いと思う。

6位 小野（高経2）、7位 岩田（青学2）

介入が限定的であった。しかし、君たちはまだ若い。是非これを機にプレパに励んでほしい。

<最後に>

春セミお疲れさまでした！今回の5回のテーブルを通して各々いろんなことを感じたと思うけど、それをどう次に繋げるかはみんな次第だと思います。ディスカッションは諦めた人が負けて、諦めなかった人が勝つという分かりやすい世界だと思うので、もし目標があるなら最後まで諦めずに頑張ってみてください。

前田

お疲れさまでした。春セミを通して何を感じましたか？自分の実力とか結果もそうですが、仲間の頑張りや先輩の支えなど色々感じるがあったのでは。どんなディスカッションになりたいのか、後輩に何を残せるのか、これを機に考えてみることをお勧めします。ちなみにディスで上を目指したいという人は、本当にこれからだから頑張ってください。過去にはCからD+を取った頭おかしいやつもいるらしいです。気張ってこう。

五十嵐